

# 学校再開における新型コロナウイルス感染症対策の徹底

R3.9.6 伊良波中保健室

## 1. 健康観察について

- ① 毎朝、自宅でも検温をしましょう。(健康観察シート記入、確認、保管)
- ② 発熱や倦怠感、喉の違和感などの風邪症状がみられる時は、無理をせずに自宅で休養するようにしましょう。  
(出席停止) 普段と体調が少しでも異なる場合は自宅での休養をしましょう。
- ③ 「感染レベル2以上」は、同居する家族が発熱等の風邪症状や体調不良がみられる場合は学校へ連絡をして、自宅で安静にしましょう。(出席停止)
- ④ 同居する家族等が感染し濃厚接触の疑いがある場合は、保健所からの指示がなされていなくても登校を控えましょう。

### 【玄関前の健康観察】

- ・生徒は、玄関前で検温して入室する。(検温：サーモグラフィ(3)、各学年職員1名～)

### 【学級での健康観察】

- ・生徒は、検温した結果を学級用検温記録表に記入する。
- ・保健委員は、未記入の生徒に検温の声掛けをする
- ・担任は、学級用検温記録表を参考に健康観察を行う。

※ 家族の発熱等の風邪症状についても必ず確認してください。  
(小中学生の感染経路で一番多いのは家庭内感染です!)

## 2. 校内環境について

### ① 手洗いについて

・給食前・移動教室後・みんなが使う物を触った後は、必ず手を石けんで洗いましょう。

### ② 換気について

- ・エアコン使用時においても換気は必要です。気候上可能な限り、常時換気に努めましょう。
- ・常時換気が難しい場合 30分に1回以上窓を開けて換気を行うようにしましょう。

### ③ 校内の消毒について

生徒が利用する場所のうち、特に多くの生徒が手を触れる箇所(机・いす・ドアノブ、手すり、スイッチ・窓枠・水道[からん、蛇口部分]など)は、消毒液を使用して1日1回拭きましょう。

### ④ マスク着用の徹底

・一般的なマスクでは不織布マスクが最も高い効果を持ち、次に布マスク、ウレタンマスクの順に効果があるとされています。マスクは正しくつけないと効果がありません!

## マスク着用についての正しい知識を身につけましょう

### ■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	マスク			フェイスシールド	マウスシールド	なし
						
	効果:大					効果:小
	20%	18-34%	50%*2	80%	90%*2	100%
	30%	55-65%*2	60-70%*2	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)		100%

#### ⑤ 給食時間について

- ・食事の前後の手洗いの徹底するとともに、向かい合わずに距離を取り、黙食をこころがけましょう。
- ・食後にはできるだけ早くマスクを着用し、飛沫感染の防止対応を行いましょう。
- ・飲食の場面では感染リスクが高くなっているとされていることから、十分な換気を行いましょう。

#### 4. 身体的距離の確保

- ・人との間隔は、できるだけ2m程度（最低1m）空けて「密」にならないようにしましょう。
- ・教室での席は、できる限り間隔をあけて授業をおこないます。
- ・休み時間（廊下、トイレ、手洗い場など）も友達と間隔を空けましょう。



#### 5. 水筒持参について

- ・冷水機による多くの人との接触をさけるため、水筒の持参をお願いします。
- ★水分補給は感染症予防・熱中症予防にも効果的です。